

練馬区商工業振興計画

平成 23 年度（2011 年度）～26 年度（2014 年度）

～ まちの魅力を活かし、みどりとの調和を図りながら、変化に
対応したにぎわいのある産業活動を区民とともに推進する ～

平成 22 年（2010 年）9 月

練 馬 区

はじめに

区は、昨年12月に「練馬区のめざす10年後の姿」を定めた新しい基本構想を策定し、その実現に向けた施策と事業の体系を本年3月に長期計画により明らかにしました。この基本構想および長期計画では、「経済活動を活発にし、にぎわいのあるまちを創る」ことを主要な政策の一つとしています。そこで、今回見直した新しい商工業振興計画には、基本構想および長期計画で定める政策の実現を目指すことが求められています。

現行計画が策定された平成15年以降、区内の商工業を取り巻く経営環境は、経済のグローバル化の進展をはじめとして、技術革新の飛躍的進展や地球温暖化への対応など、大きく変化しています。

こうした中、区民に必要な商品やサービスを提供するとともに、区民に身近な雇用の場を提供するなど、地域の経済を支え、まちににぎわいを創り出すという区内商工業が持つ役割は、ますます重要なものとなってきております。

そのため、本計画では、区内商工業の一層の振興を図るため、「変化に対応した産業活動の推進」や「まちににぎわいをもたらす産業活動の推進」などの五つの戦略目標を定めました。

さらに、戦略目標を達成するため、区内中小企業の経営を支援するための「ワンストップ相談」、飛躍的に拡大しているインターネット販売により販路拡大を図るための「ネットショッピング事業への支援」、魅力的な商店街づくりを進めるための「コミュニティスポット事業への支援」や「買物支援事業」など、13の新規事業を含めて55の計画事業を位置付けました。

私は、区内の中小企業が、様々な経営環境の変化にも柔軟に対応し、力強く成長することを目指し、本計画で定める事業を積極的に推進することにより、「にぎわいのあるまちを創る」という基本構想および長期計画の目標を着実に実現してまいります。

本計画を策定するに当たりましては、練馬区商工業振興懇談会から貴重なご提言をいただきました。また、事業者および区民の皆様からも多くのご意見をいただきました。ご協力をいただきました関係各位に感謝の意を表するとともに、心からお礼申し上げます。

平成22年9月

練馬区長 志村豊志郎

目次

第1章	計画の目的と位置付け	1
1	計画の背景と目的	1
2	計画の位置付け	1
第2章	練馬区の商工業の現状と課題	4
1	区内事業所の概要	4
2	区を取り巻く経済・社会の動向	8
3	区内の商工業の現状	11
4	区内の商工業の課題	16
第3章	商工業振興の基本的方向	19
1	基本的方向	19
2	戦略目標の設定	20
第4章	施策の体系と個別事業	22
1	施策の体系	22
2	個別事業	24
3	年度別計画（新規事業）	34
第5章	計画の推進	35
1	商工業振興の推進体制	35
2	区の支援のあり方	36
3	計画の進行管理	37
参 考 資 料		
	用語解説	41
	統計資料	42
1	練馬区の概況	42
2	「練馬区商工業振興計画策定に伴う区民意識・事業所実態調査」	44
3	「練馬区商店街実態調査」	54
	練馬区商工業振興計画策定の経緯	61

